

BTCC “**新規口座開設限定**”

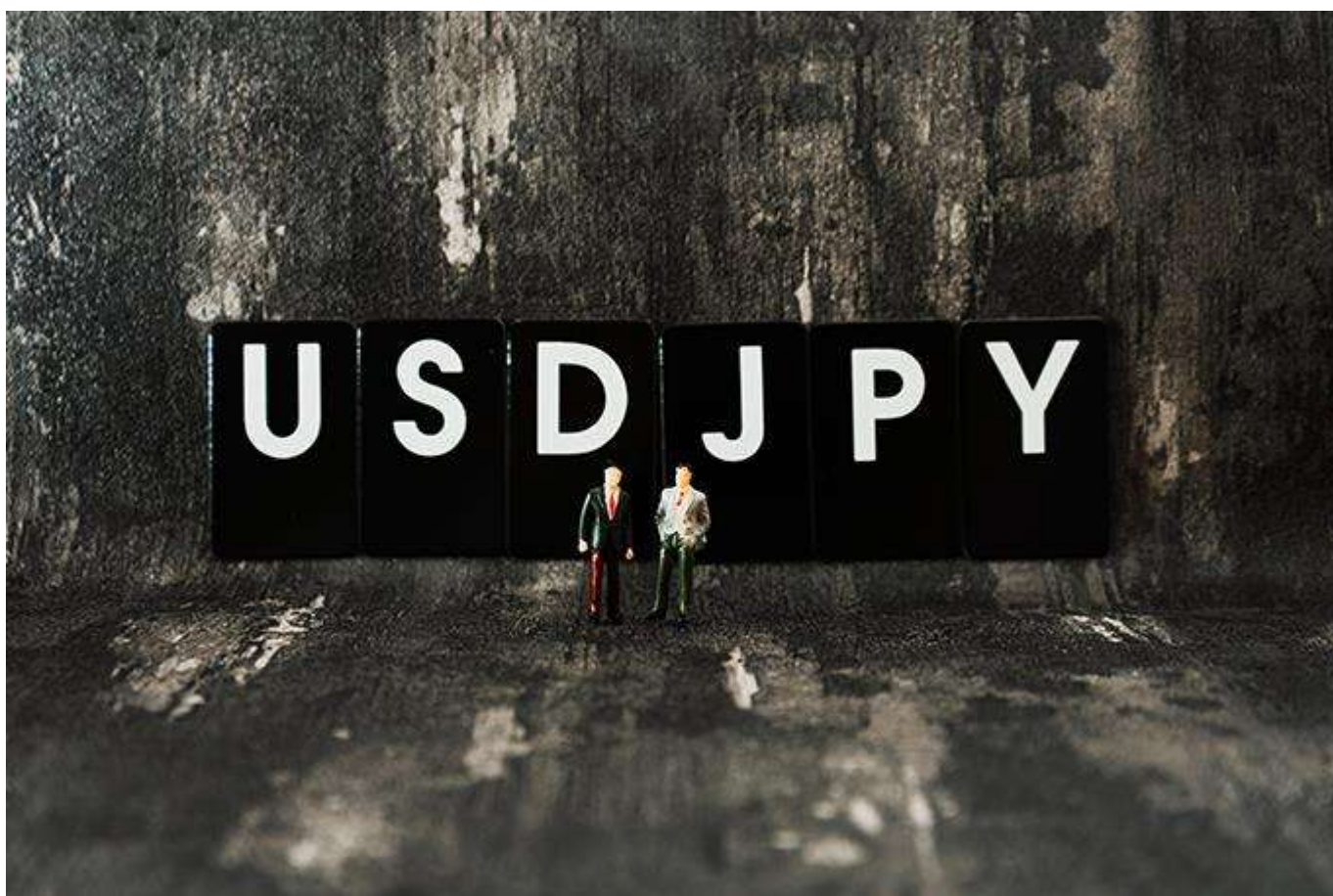
BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!

今すぐ口座開設/詳細はこちら

ドル円の今後はどうなる？ 円安はいつまで？ 今後の見通しや最新予想

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/financial-investment/what-is-usd-jpy-future>



「ドル円の今後はどうなるのか。」

「円安はいつまで続くのか。」

「2022年、ドル円はどのような展開を見せるのか。」

2020年はコロナ禍が起きた以来、為替相場、特にドル円相場大きく動いています。

今回は、日本人になじみの深い日本円と米ドルに焦点を当てます。

ドル円の今後の見通しや最新予想、円安はいつまで続くのかなどに巡って、金融政策や経済情勢なども絡めて解説していきますので、ぜひ最後までお読みください。

【関連記事】

[FX（外国為替取引）とは？特徴や注意点、やり方などを徹底解説](#)

[為替介入とは？為替相場への影響や効果を徹底解説](#)

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

[BTCC口座開設はこちら](#)

目次

目次

- ドル円相場：現在のドル円為替レート
 - 最新のドル円相場【2024年2月】
 - 今後のドル円予想に影響させるポイント
 - ドル円今後の見通し
- ドル円レートの推移
 - 2008年～2012年ドル円の値動き
 - 2012年～2016年ドル円の値動き
 - 2016年～2020年ドル円の値動き
 - 2020年～2022年ドル円の値動き
 - 2022年前半ドル円の値動き
 - 2022年後半ドル円の値動き
 - 2023年2月ドル円の値動き
 - 2023年3月ドル円の値動き
- ドル円の為替レートを影響する要因
 - ドル円為替レートの影響要因①：国の景気
 - ドル円為替レートの影響要因②：物価
 - ドル円為替レートの影響要因③：金融政策
 - ドル円為替レートの影響要因④：金利
 - ドル円為替レートの影響要因：その他
- ドル円今後の見通し
- 円安/円高になる要因
 - 円高になる要因
 - 円安になる要因
- 円安はいつまで続く？【2023年最新予想】
 - ドル円相場2023年予想：米国の金融政策
 - ドル円相場2023年予想：日本の金融政策
- ドル円今後はどうなる？ドル円の長期予想
 - 三菱UFJ銀行によるドル円予想
 - 野村證券によるドル円予想
- ドル円今後の見通し：まとめ
- 関連記事

この12年、BTCCは

累計先物取引高
4.5
万億+
USDT

世界のユーザー登録数
1,600,000+

800+
のメディア掲載

最大 **150** 倍
のレバレッジ

各国のSNSフォロワー数
155,000+

0
ハッキング

過去に **800+**
キャンペーンを開催

最低取引手数料
0.03%

3 っ
の仮想通貨ライセンス
アメリカ、カナダ
とヨーロッパで取得

24/7
カスタマーサービス

過去に **4,450,012** USDT
のボーナスを配布

86
通貨の上場

57%のユーザーが
口座開設後に
VIP2
にグレードアップしています

サービス提供の国
112
COINMARKETCAP #5
にランクイン

わずか **1** 秒
で300BTCの注文が入る

COINGECKO #3

アプリのダウンロード数
3,000,000+

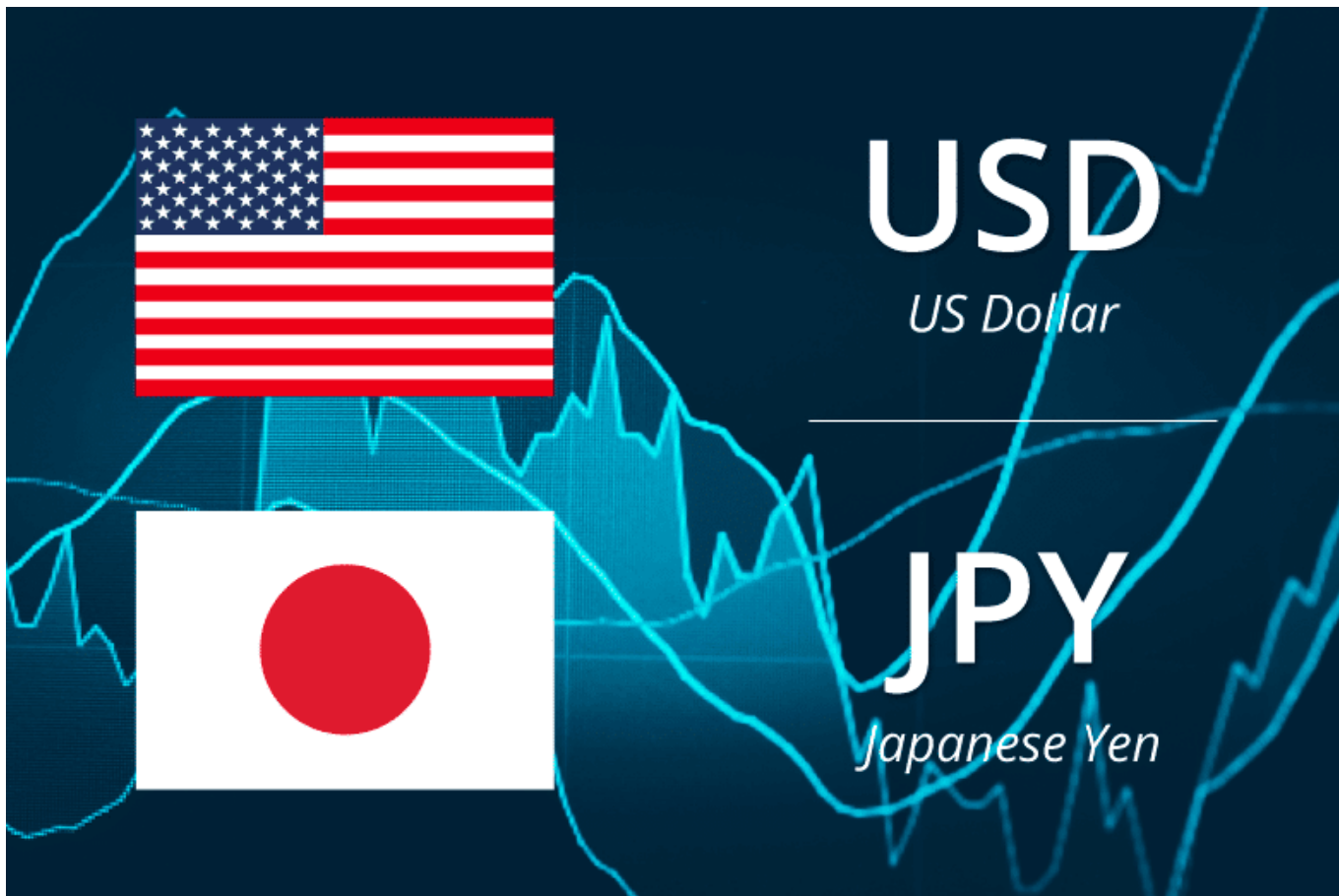
BTCC

12
ANNIVERSARY

\新規口座開設だけで10USDTゲット! /

[BTC口座開設はこちら](#)

ドル円の今後：ドル円為替レートの現在動向と最新予想



ドル円今後の見通しを予想したいのは、現在のドル円相場の状況を把握する必要があります。

■ [ドル円相場の最新動向【2024年2月】](#)

ドル円は2024年1月31日、日銀1月会合でマイナス金利解除等の意見があったことでやや下落しましたが、ほぼ147円台後半でもみ合いとなった。

その後、米ADP民間雇用者数と四半期の雇用コスト指数が予想を下回ったため、ドル円は一時146.06まで急落しました。

本稿更新時点（2023年2月1日）では、ドル円は147円台を維持できず、146.72円まで下げています。

■ ドル円の今後に影響させるポイント【2024年2月】

- ・FRB議長の3月利下げに否定的な発言
- ・米長期債利回り低下
- ・米ADP民間雇用者数が予想を下回る

...

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

\新規口座開設だけで10USDTゲット! /

[BTCC口座開設はこちら](#)

■ ドル円予想：今後の見通し

日銀による金融緩和措置が続くと、円金利の上昇余地は限定的です。また、米FRBは早期利下げに慎重な姿勢を明確化するため、米金利の低下余地は限定的で、今後円安が継続するとの見方が市場で強まっています。

また、米新規失業保険申請件数や、米1月チャレンジャーレイオフ調査、米1月製造業PMIなどが良好な結果を示すと、米長期金利の反転上昇可能性があり、ドル買いが予想されます。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

この12年、BTCCは



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

[BTCC口座開設はこちら](#)



[Google Playで手に入れよう](#) [App Storeからダウンロード](#)
[日本ユーザー様限定特典 \(10,055USDTギフトパック\) <<<<](#)

円安はいつまで？ ドル円の価格推移から見る円安の進展



ここ数年、ドル円（USD/JPY）のドル円為替レートがどのように推移し、なぜ変動してきたのか、どのような政策がとられてきたのか、具体的に見ていきましょう。

ドル円相場（USD/JPY）の変動要因を追うことで、将来に向けてどのようなポジションを取ればいいのかわかります。

■ 円安歴史：2008年～2012年リスク回避で円買いトレンド

リーマンショックから欧州債務危機まで、日本以外の世界経済は極めて不安定で、2012年までは安全資産としての日本円買いトレンドになりました。

その結果、2008年から2012年にかけて円高トレンドとなり、一時は1ドル75円台という円高水準となったのです。

当時、米国経済はまだ不況であったが、ブッシュ減税や金融緩和が続いており、ドルを押し下げる要因となっていました。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

この12年、BTCCは



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

[BTCC口座開設はこちら](#)

■ 円安歴史：2012年～2016年のアベノミクス(金融緩和政策)

2012年、日本では安倍晋三首相が主導したアベノミクスが台頭しました。量的・質的金融緩和、異次元緩和といった言葉はまだ覚えています。

実際、日経平均株価は1万円を割り込んだにもかかわらず、2012年から2015年にかけて日経平均株価は2万円台を回復し、為替も75円台から120円以上まで上昇しました。

これにより、為替市場の資金量が増え、金利が低下し、円安が進み、輸出企業を中心とした企業業績の回復につながりました。

■ 円安歴史：2016年～2020年円安進み

2016年までに円安進み、一時100円台まで下落しました。

2016年初頭、日銀総裁の黒田がマイナス金利の導入を発表し、急速に円高が進みました。

また、トランプ大統領が当選したことで、米国の金利上昇により資金が流入し、株価が上昇、1ドル=118円台まで上昇しましたが、120円を超えることができず、徐々にドル安円高が進みました。

その後、日本は金融緩和を、米国は利上げ（金融引き締め）を継続し、金利に徐々に差が出始めることとなります。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

[BTCC口座開設はこちら](#)

■ 円安歴史：2020年～2022年コロナ禍

2020年にコロナ禍が始まり、外出自粛や観光客の渡航禁止などを受け、観光・サービス業を中心に経済活動が急停止してしまいました。

その結果、多くの企業で業績が大幅に悪化し、資金調達や従業員への給与支払いに苦慮することになりました。多くの主要国は国内企業や個人への支援、金融緩和が行われました。

2020年2月のドル円為替レートは112円でしたが、コロナ禍を受けて円高が進み、2020年3月には一時的に101円台まで上昇しました。

その後、米国での新型コロナ感染者数の増加などにより、緩やかな円高傾向が続き、2020年末には103円台となりました。

2020年11月、バイデン大統領が当選し、欧米や中国でワクチン接種プログラムが具体化し始めたことで景気刺激効果を期待して金利が上昇し、金融引き締めにつながりました。

それにより、2021年初頭には103円台だったドル円相場は、金利上昇に伴い2021年3月末には110円台まで一気に上昇しました。

■ 円安歴史：2022年前半米利上げの実施

2022年3月のFOMCから段階的に利上げの実施や、日銀は依然として金融緩和を維持すること、または日本の貿易赤字、米国の利上げ継続などが原因として、円安トレンドが続いています。

日銀は為替介入でドル円は一時下落しましたが、その後再び上昇しました。

2022年3月29日、日本銀行は長期金利の上昇を抑えようと「連続指値オペ」を開始しました。指値オペが実行されれば、今後どれだけ売られても日銀は0.25%の利回りで国債を買うことになり、長期金利の上昇を食い止めることができます。

この政策に市場は素早く反応し、それまで続いていた急激な円高には一時的に歯止めがかかりましたが、その後も急激な円安が加速されました。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

この12年、BTCCは



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

[BTCC口座開設はこちら](#)

■ 円安歴史：2022年後半急激な円安

2022年末にかけては急激な円安の影響で、ドル円レートが高値を更新しました。

12月6日時点でのドル円（USD/JPY）ドル円為替レートは、急激な円安により高値を更新していましたが、徐々に安定し、現在は137円台で推移しています。

ドル円為替レートは、通貨の需要と供給、つまりどの通貨に人気があるかによって上下します。

例えば、2022年9月と10月に、日銀は急激な円安ドル高を避けるために為替介入を行いました。ドル円為替レートはその後上昇を続けました。

■ 円安歴史：2023年2月金融緩和政策の修正

2023年2月27日、ドル円は植田総裁候補の穏当な所信、質疑応答、米PCEデフレーターの前予想以上の上昇に136.51円までつけています。

2月23日夜に、ドル円は135.36円へ上昇して年初来高値を更新しました。

しかし、2月24日午前の植田日銀新総裁候補の国会所信表明と質疑応答を見ながら、ドル円は一時134.05円まで下落しました。

一方、現状の金融緩和政策を急いで大きく修正する姿勢ではなかったために、通過後は円安優勢の流れとなりました。

■ 円安歴史：2023年3月米雇用統計の改善

米3月雇用統計は4月7日夜に発表され、非農業部門就業者数は23万6000人増加し、失業率は予想外の3.5%へ低下したことでドル高となり、発表前安値の131.52円から132円台へ上昇しました。

一方、米シリコンバレー銀の経営破綻など市場から信用不安が広がり、リスク回避のため円高傾向となり、ドル円は3月8日高値137.91円から3月24日安値129.63円まで下落しました。

その後、信用不安がやや落ち着いたため、約4円の戻り幅となりました。

3月ドル円に影響させる要因

- ・ 米3月雇用統計で失業率の低下
- ・ 米シリコンバレー銀等の経営破綻報道による信用不安
- ・ 米長期債利回りの低下

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

この12年、BTCCは

累計先物取引高
4.5
万億+
USDT

世界のユーザー登録数
1,600,000+

800+
のメディア掲載

最大
150倍
のレバレッジ

各国のSNSフォロワー数
155,000+

0
ハッキング

最低取引手数料
0.03%

3つの
の仮想通貨ライセンス
アメリカ、カナダ
とヨーロッパで取得

24/7
カスタマー
サービス

過去に
4,450,012USDT
のボーナスを配布

86
通貨の
上場

過去に
800+
キャンペーン
を開催

57%のユーザーが
口座開設後に
VIP2
にグレードアップ
しています

サービス提供の国
112

わずか**1**秒
で300BTCの注文が入る

COINMARKETCAP
#**5**
にランクイン

COINGECKO
#**3**

12
ANNIVERSARY

BTCC

\新規口座開設だけで**10USDT**ゲット! /

[BTCC口座開設はこちら](#)

円安はいつまで? 【ドル円今後の見通し】



円安はいつまで続くのかも、両国の金融政策につながります。

現在、日米ともに金融緩和を行っていますが、どの程度の金融緩和をどの程度の期間行うかがポイントです。その長さのバロメーターとして、長期金利と短期金利の差が注目されます。

短期金利は通常、中央銀行の政策金利に近く、冠たる措置として2020年以降、ほとんどの先進国でゼロに設定されています。

長期金利（一般的には10年物国債の利回り）は、長期的な資金需要や将来の物価上昇の要因になると考えられており、景気の状態を知る上で良い指標となります。

ここでいう将来の物価上昇率は、専門的には「予想インフレ率」と呼ばれるものです。

長期金利と短期金利がどの程度離れているかで、経済の状態が垣間見えます。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

この12年、BTCCは



\ 新規口座開設だけで**10USDT**ゲット! /

[BTCC口座開設はこちら](#)

■ ドル円の今後：米国の金融政策

今後のドル円予想は、米国の金融政策に繋がります。米国10年国債の利回りは、年初の0.9%から2021年6月中旬には1.4%まで急上昇しました。

これは、政策金利と長期金利の間に乖離が生じ始めていることを意味します。

政策金利と長期金利の乖離が拡大すれば、中央銀行は政策金利の引き上げや量的緩和の縮小を検討することになるので、今がその検討の好機といえるでしょう。

この緩和の縮小は、しばしば「テーパリング」（＝徐々に縮小すること）と表現されます。

2013年、リーマンショック後の緩和的な金融のテーパリングが発表されると、それまで緩和的な金融に支えられていた国際金融市場は大きく揺らぎ、市場が急変しました。

このように緩和縮小時に市場が急変することを「テーパリング・タンクトラム」と呼ぶが、コロナ対策

で金融緩和の縮小を提案したタイミングが、テーパリング・タンクトラムの引き金となったのである。また、テーパリングのタイミングについても批判を浴びています。

2022年3月のFOMC（連邦公開市場委員会、FRB）では、長い間変わっていなかった金利の引き上げが話題になりました。現在の0.25%から0.50%に引き上げられ、2022年中は金融引き締めが続くとみられ、すべての外貨に対してドル高になる可能性があります。

2022年11月、アメリカの金利は4.00%ですが、日本ではまだ利上げの見通しが立っていません。しかし、これはドルにとって良いことばかりではなく、利上げが米ドルの転換点となることを危惧する声も多いです。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

[BTCC口座開設はこちら](#)

ドル円の今後：日本の金融政策

今後のドル円予想は日本の金融政策も関わります。日銀は、金融緩和を継続し、経済・物価・金融情勢の変化に応じて必要な追加緩和を実施しています。

2021年6月18日の金融政策決定会合で、量的緩和策の一つである「コロナ資金繰り支援特別プログラム」の有効期限を2021年9月末から2022年3月末に半年間延長しました。

また、2022年3月には日銀黒田総裁が記者会見を行い、楽観的な見方を示したことから、さらなる円安が進行しました。

日銀が為替相場に大きな影響を与えないようにするため、ドルだけでなく他の外貨に対しても円安を加速させました。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

[BTCC口座開設はこちら](#)



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

ドル円今後の見通し・最新予想を解説

ここからはドル円の今後の見通しを見ていきましょう。

2022年からはコロナ禍や米利上げなどによって、ドル円は大きな動きがあったことがわかりましたが、今後これらのポイントがドル円の今後にどんな影響を与えるか、ドル円の今後の見通しを絞って解説します。

ドル円：日本でのコロナ対策緩和

2020年から新型コロナの感染拡大により、日本への観光客の流れはほぼ完全に止まり、円相場は支えを失ってしまい、貿易赤字の急増と相まって、2020年後半から2年以上にわたって円安が続いています。

現在、日本のコロナ対策は緩和され、外国人観光客は以前と同じように徐々に来日できるようになりました。

マスクオフ対策は2023年3月から実施されており、日本での行動制限の緩和は徐々に広がっています。

日本でも多くの人が物価高の影響を受けていますが、景気が少しずつ回復している兆候がみられており、コロナ対策緩和による円相場の支えも少しずつ回復すると予想されます。

ドル円：米利上げが続き、米CPIが下落傾向に

米FRB（連邦準備制度理事会）によると、2023年も利上げが継続する見込みです。

利上げが続くと、景気の後退を招きかねないので、アメリカの経済回復の遅れると日本の景気も影響さ

れるでしょう。

しかし、米CPI（消費者物価指数）は下落傾向にあり、物価の上昇が落ち着く傾向にもあります。

そうすると、ドル円相場の支えも堅実になり、ドル円も上昇トレンドになると予想されます。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。



\新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

[BTCC口座開設はこちら](#)

ドル円の今後： 今後はどうなる？ 今後を影響する要因



これから、前述のドル円為替レートの変動要因をまとめて解説していきます。

ドル円為替レートは、基本的に「需要と供給のバランス」に基づいています。つまり、買いたい人が多ければ価値が上がり、売りたい人が多ければ価値が下がると認識されるのです。

しかし、ドル円為替レートを影響できる要素は様々ありますので、一緒にを見てみましょう。

■ ドル円の今後に影響される要因①：金融政策

各国の中央銀行は、物価や景気に目を配りながら、さまざまな金融政策を行っています。その代表的なものが、金融緩和と金融引き締めです。

例えば、経済が不況になると、景気を支えるためにお金の循環を良くすることが必要になります。

お金の流れを良くするために、中央銀行は貸出金利を下げたり、銀行が保有する国債などを買って、市場にお金を供給します。これは「金融緩和」と呼ばれています。

金融緩和はお金の総量を増やすので、お金の価値を下げます。

この反対は「金融引き締め」で、政策金利を上げ、銀行の当座預金残高を小さくすることで、マネーサプライを減少させます。

このように、中央銀行は「市場に流通するお金の総量」をコントロールしようとしています。

そして、この傾向を理解することは、将来の中央銀行の行動を予測する際のヒントになります。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

この12年、BTCCは

累計先物取引高 4.5 万億+ USDT	世界のユーザー登録数 1,600,000+	800+ のメディア掲載	最大 150倍 のレバレッジ	各国のSNSフォロワー数 155,000+	0 ハッキング
過去に 800+ キャンペーンを開催	最低取引手数料 0.03%	3つ の仮想通貨ライセンス アメリカ、カナダ とヨーロッパで取得	24/7 カスタマーサービス	過去に 4,450,012USDT のボーナスを配布	86 通貨の上場
過去に 800+ キャンペーンを開催	57%のユーザーが 口座開設後に VIP2 にグレードアップしています	サービス提供の国 112	わずか 1秒 で300BTCの注文が入る	アプリのダウンロード数 3,000,000+	
		COINMARKETCAP #5 にランクイン	COINGECKO #3		

BTCC **12**
ANNIVERSARY

\新規口座開設だけで**10USDT**ゲット! /

[BTCC口座開設はこちら](#)

ドル円の今後に影響される要因②: 国の景気

国の景気はドル円為替レートと密接に関係しています。

日本では、内閣府が生産、雇用などさまざまな要因の指標を提供しています。

アメリカでは、雇用統計は景気の状態を示す最も重要な指標です。もちろん、日本でも同様の経済指標は発表されています。

景気が良くなり、経済が活性化され、お金を入れてくれる人が増えれば、ドル円為替レートにも影響が出ます。

■ **ドル円の今後に影響される要因③：物価**

物価とは、モノやサービスの値段/価格のことです。物価が上がることを「インフレ」、下がることを「デフレ」といいます。

例えば、卵が1個100円だったのが110円になったということは、10%のインフレが起こったということです。

このとき、貨幣単位で考えれば、インフレは貨幣価値の低下と表現できます。

たとえ日本でデフレ、米国でインフレが起こっている状況を考えてみましょう。

日本円の価値が上がり、ドルの価値が下がりますよね。それで、ドル円為替レートはドル安円高になります。

したがって、物価の動きも為替に大きな影響を与えます。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

この12年、BTCCは



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

[BTCC口座開設はこちら](#)

ドル円の今後に影響される要因④：金利

金利は、預金および貸付金の金利です。

主に銀行とそこからお金を借りる個人や企業の動きに関わる要素であり、上記のように経済と密接に関係しています。

金利が高いと、企業は借入金利が高くなるため、借入や設備投資に消極的になります。

金利が低いと、企業は借入金利が低いので、設備投資やM&Aなどのためにお金を借りようとします。

ドル円の今後に影響される要因⑤：その他

また、地震や火山噴火などの自然災害、地域紛争や戦争なども要因としてまとめています。

これらは、予測不可能な要因で国内の不安を煽り、下落につながる可能性があります。

主な要因を挙げましたが、他にもボラティリティの要因となるものがあります。

例えば、企業の大型買収など外貨を必要とする場面や、貿易を行う企業の実際のニーズもドル円為替レートに影響を与えます。

2022年9月22日、日銀が円買いドル売り介入（為替介入）を行い、一時的に円安が緩和される事態となりました。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

この12年、BTCCは

累計先物取引高 4.5 万億+ USDT	世界のユーザー登録数 1,600,000+	800+ のメディア掲載	最大 150 倍 のレバレッジ	各国のSNSフォロワー数 155,000+	0 ハッキング
過去に 800+ キャンペーンを開催	最低取引手数料 0.03%	3 つの の仮想通貨ライセンス アメリカ、カナダ とヨーロッパで取得	24/7 カスタマーサービス	過去に 4,450,012USDT のボーナスを配布	86 通貨の上場
過去に 800+ キャンペーンを開催	57%のユーザーが 口座開設後に VIP2 にグレードアップしています	サービス提供の国 112	わずか 1 秒 で300BTCの注文が入る	アプリのダウンロード数 3,000,000+	
		COINMARKETCAP # 5 にランクイン	COINGECKO # 3		

BTCC **12** ANNIVERSARY

＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

[BTCC口座開設はこちら](#)

BTCC
仮想通貨、株式、先物を同じ場所で
アプリをダウンロード >  
日本円&仮想通貨 入金可能



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

円安/円高はいつまで続く？ 円安/円高になる要因



米ドルに対して円高か円安かを示す言葉として「円高」「円安」という言葉がよく使われますが、この2つの言葉にはそれぞれ要因があります。

■ 円高になる要因

円高とは、「ドルに対して円の価値がチャート上で上下する」ことであり、1ドルに対して交換できる円の量が少なくなることを意味します。

円高になる要因としては、米国の金利低下と日本の金利上昇や、日本からの輸出が増加、日本への外国人観光客が増えるなどが挙げられます

ドル建ての円の動きが大きくなればなるほど、円高傾向になり、チャートは下降していきます。

何か大きな戦争や世界的な流れがあったときに、安全を求めて日本円を買う動きが多くなり、それが円高につながるが多いです。

■ 円安になる要因

円安とは、「円の価値がドルに対して下がった / チャートが上がった」ことを意味し、1ドルでより多くの円を購入できることを示しています。

円安の要因としては、米国の金利上昇と日本の金利低下や、アメリカからの輸入が増える、日本円の売り込みなどがあります。

円高の裏返しとして、円対ドルの為替が強くなり、チャートの上昇につながります。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

この12年、BTCCは

累計先物取引高 4.5 万億+ USDT	世界のユーザー登録数 1,600,000+	800+ のメディア掲載	最大 150 倍 のレバレッジ	各国のSNSフォロワー数 155,000+	0 ハッキング
過去に 800+ キャンペーンを開催	最低取引手数料 0.03%	3 つの の仮想通貨ライセンス アメリカ、カナダ とヨーロッパで取得	24/7 カスタマーサービス	過去に 4,450,012USDT のボーナスを配布	86 通貨の上場
57%のユーザーが 口座開設後に VIP2 にグレードアップ しています	サービス提供の国 112	わずか 1 秒 で300BTCの注文が入る	COINMARKETCAP # 5 にランクイン	アプリのダウンロード数 3,000,000+	

BTCC **12** ANNIVERSARY

＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

ドル円長期予想：大手銀行・証券予想

ドル円の今後はどうなる？ドル円の長期予想を分析するには、金利の動きが重要なポイントと言えます。

これまで金利についていろいろと掘り下げてきましたが、実際に金利がどのように動くのか、銀行や証券会社の分析を見てみましょう。

■ 三菱UFJ銀行によるドル円の今後予想

まず、三菱UFJ銀行のデータをもとに、ドル円の今後の見通しを説明します。

「12月のFOMCにおける利上げ幅を75bpと公に主張するFRB高官もいない。FOMC直前に発表される11月のCPIを待って判断すべきとの考えもあるが、利上げペース減速が現実感を持って検討される環境になっており、これまでFRBが繰り返してきた金融引き締め姿勢の強化、という方向性からは道筋が逸れ始めているとは言っていいだろう。もちろん、ターミナルレートは5%近辺に引き上げられることとなりそうで、その点において近い将来の金融政策見通しが反映されやすい2年債利回りなどは、再度上昇することはあるだろう。連れる格好でドル高となり、ドル円も押し上げられることは十分にあり得る。つまり、引き続き現時点で、ドル円の大幅上昇局面が終焉したと言い切るには慎重にならざるを得ない。ただ、すでに140円が分水嶺のように意識され始めており、目線はやや切り下がっている。一旦、年内という時間軸では、150円は遠ざかり、135円程度までは下げ余地があるとの見方としておく必要がある。」

出典：三菱UFJ銀行 FX Weekly

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

この12年、BTCCは



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

[BTCC口座開設はこちら](#)

■ 野村証券によるドル円の今後予想

続いて、野村証券が2022年11月に発表した米ドルの将来見通しについて見てみましょう。

「米CPIの市場予想下振れをきっかけにドル円相場は急落、140円前後での推移に転じている。米国では短期のフォワード・スプレッドが一時逆転してFRBに対するピボット期待が一段と本格化、5年債などの米利回りは下押しされやすくなった可能性がある。金利差面での円安ドル高圧力のピークは近づいてきたと言えよう。また、10月の外貨準備残高や米財務省の半期為替報告書は、本邦当局に大きな介入余力が残されている可能性を示唆し、需給面でも日本の経常収支赤字転落は回避された公算が高まった。中国でのゼロコロナ政策柔軟化への期待や欧州エネルギー危機への懸念後退も、為替市場におけるドル買いを弱める材料となり得る。FRBは依然としてインフレ懸念を維持、米利上げ局面は来年前半に向けて継続の公算が大きく、ドル円は再び145-150円程度のレンジ回復に向けて反発の可能性が残るが、150円を大きく超えた円安ドル高の可能性は後退していよう。」

出典：野村証券 国際金融為替マンスリー 2022年12月

三菱UFJ銀行はドル円の短期的な見通しを解説しました。ドル高懸念が後退した調整相場とされています。

一方、野村証券は、米国の景気後退リスクの高まりがドル安の大きな要因になる可能性を指摘していま

す。ドル安が進み、ドル円が150円を超える可能性は小さいと考えられます。

他のエコノミストの見通しでは、レンジあるいは円安が安定するとの見方が多いようです。

現在の円安ドル高の要因としては、米国の景気回復、財政出動によるインフレと金利上昇、量的緩和の縮小などが挙げられます。

USD/JPYの取引を開始する際には、これらの点を意識し、状況をよくチェックしてください。

ドル円相場に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

この12年、BTCCは

累計先物取引高 4.5 万億+ USDT	世界のユーザー登録数 1,600,000+	800+ のメディア掲載	最大 150 倍 のレバレッジ	各国のSNSフォロワー数 155,000+	0 ハッキング
過去に 800+ キャンペーンを開催	最低取引手数料 0.03%	3 つの の仮想通貨ライセンス アメリカ、カナダ とヨーロッパで取得	24/7 カスタマーサービス	過去に 4,450,012USDT のボーナスを配布	86 通貨の上場
過去に 800+ キャンペーンを開催	57%のユーザーが 口座開設後に VIP2 にグレードアップ しています	サービス提供の国 112	わずか 1 秒 で300BTCの注文が入る	アプリのダウンロード数 3,000,000+	

BTCC **12**
ANNIVERSARY

\新規口座開設だけで**10USDT**ゲット! /

[BTCC口座開設はこちら](#)

BTCC

アプリをダウンロードして確認

[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

ドル円今後の見通し・価格予想：まとめ

今回は、ドル円の今後の見通しと予想について詳しく見ていきましょう。ドル円を取引する方は、ぜひこの記事の内容を参考にしてください。

米国では、10年物国債の利回りがある程度上昇する兆しを見せており、価格の上昇を示唆しています。

このような状況から、米国の早期利上げやテーパリングが行われれば、米ドル/円は上昇（下落）し、逆に米国経済がさらに低迷したり、日本の景気回復が追いつけば、円高になる可能性があります。

現在、銀行や証券会社では、ドル円相場は円安ドル高の水準で動くと予測していますので、取引方針を定める際の参考にしてください。

為替や株式、仮想通貨に関してもっと知りたい方は、[BTCCアカデミー](#)や[BTCCニュース](#)をご覧ください。

[BTCC公式サイト](#)

【BTCC新規口座開設キャンペーン】

口座開設 & 入金で最大10,055 USDTをゲット!

BTCC新規口座開設だけで **10USDT** ボーナス獲得!

本人確認完了でさらに **5USDT** をゲット!

口座開設後入金&取引で最大 **10,055USDT** のボーナス獲得可能。

※キャンペーンに参加するには、申し込みが必要です。詳しくは[BTCC新規口座開設キャンペーン](#)でチェックしてください。

最新のキャンペーン情報はこちらから：<https://www.btcc.com/ja-JP/promotions>

\新規口座開設だけで10USDTゲット! /

【BTCCについて】

BTCCは、2011年6月に設立された仮想通貨取引所です。現在、世界110以上の国と地域でサービスを提供しています。

ビジョンとして、「信頼ができる仮想通貨取引を誰もが簡単に利用できること」を掲げており、**運営12年以來一度もセキュリティ事件を起こしていません**。世界で最も長い歴史と安心のセキュリティを備えるBTCCは、信頼できる取引所だと言えるでしょう。

BTCCは現在、ビットコインやイーサリアムなどの仮想通貨や、ゴールド・シルバーなどの人気コモディティ、**Apple**、**Meta**、**Microsoft**などの米株を初めとするトークン化株式の先物商品を含む200種類以上の銘柄を取り扱っており、最大150倍のレバレッジ提供が可能です。

また、BTCCは高い流動性を誇っているため、仮想通貨市場において急騰・急落の相場が訪れたときにも一瞬で注文が通り、わずか1秒で300BTCの注文が可能なシステムを構築しています。

極端な相場になった時でもすぐに注文が通るほど取引板が厚くて、取引板では「**Bid 1**（売値）」と「**Ask 1**（買値）」は最大**200BTC**の注文、取引板の注文を合わせて最大**1000BTC**の注文が可能です。

さらに、スマホアプリ、Webサイトともに完全日本語対応のため、日本人にも使いやすいのが特徴です。BTCCは現在日本での登録者数が徐々に増加しており、またウェブサイトやSNSを通じて日本限定のキャンペーンも度々開催されています。

この12年、BTCCは



＼新規口座開設だけで**10USDT**ゲット！ /

[BTCC口座開設はこちら](#)

関連記事

[台湾積体回路製造\(TSMC\)株価の今後は？ 10年後の株価予想や将来性を解説](#)

[ネットフリックス\(Netflix/NFLX\)株価の今後は？ 将来性や価格予想を徹底解説](#)

[2024年ドル円相場予想：円安が続く理由は？ 今は円買いのチャンス？](#)

[トヨタ株価がおかしい？ 配当利回りやライズの値崩れ・今後の株価予想などを徹底解説](#)

[アルファベット\(Google\)株価は今後どうなる？ 価格予想や見通しを徹底解説](#)

[アマゾン\(Amazon\)株価は今後どうなる？ 株価予想や見通し・株式分割を解説](#)

[ソフトバンク株価は10年後どうなる？ 危ない？ 今後の見通しや配当を徹底解説](#)

[10年後の金相場予想は？ 金価格の推移や今後の価格予想を徹底解説](#)

[マイクロソフト株価は今後どうなる？ 10年後の株価予想や見通し・買い方を解説](#)

[アーム\(ARM\)株価は今後どうなる？ 10年後の株価予想やIPO後見通しを徹底解説](#)

[空売りとは？ 株の空売りのやり方やメリット・注意点を徹底解説](#)

[エヌビデオ株は今後どうなる？ 10年後の株価予想や見通し・買い方を解説](#)

[2023年の株式市場はいつから？ 東京株式市場・米国株式市場2023年価格予想](#)

[テスラ株の今後予想や将来性を徹底解説！ 買い方や10年後の株価予想も](#)

[仮想通貨ARKM \(Arkham/アークハム\)とは？ 価格動向や将来性を徹底解説](#)

[仮想通貨SPELL\(スペルトークン\)とは？ メリットやデメリット・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨MAVIA\(Heroes of Mavia\)とは？ 始め方や遊び方・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨カウンターパーティー\(XCP/Counterparty\)とは？ 今後の見通し・将来性・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨Gitcoin \(GTC\)とは？ 特徴や今後の見通し・将来性を徹底解説](#)

[仮想通貨Metis\(METIS\)とは？ 価格動向や買い方・ユースケースを徹底解説](#)

[仮想通貨FUSD\(First Digital USD\)とは？ 取引所や価格予想・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨Status\(ステータス/SNT\)とは？ 特徴や今後の将来性・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨THORChain \(RUNE\)とは？ 特徴や今後の価格予想・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨Casper \(キャスパー/CSPR\)とは？ 特徴や価格動向・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨Livepeer \(LPT\)とは？ メリット・デメリット・買い方など徹底解説](#)

[仮想通貨Raydium\(RAY\)とは？ 今後の将来性や価格動向・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨Zetachain\(ゼータチェーン/ZETA\)とは？ 特徴やメリット・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨Jupiter\(JUP\)とは？ 特徴や価格動向・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨WEN\(WEN Token\)とは？ 特徴やメリット・買い方を徹底解説](#)

[GT Protocol\(GTAI\)とは？ 特徴や取引所・買い方を徹底解説](#)

[GAMEE\(GMEE\)とは？ 価格動向や取引所・買い方を徹底解説](#)

[Osmosis\(OSMO\)とは？ 特徴や今後の見通し・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨FAR\(Farcana\)とは？ エアドロップのやり方・価格動向・取引所を徹底解説](#)

[仮想通貨SAROS\(Saros Finance\)とは？ 特徴や仕組み・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨RAIN\(Rainmaker Games\)とは？ 特徴や価格動向・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨Ondo \(ONDO\)とは？ 価格動向や取引所・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨WIF\(Dogwifhat\)とは？ 取引所や価格動向・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨チリーズ\(CHZ/Chiliz\)とは？ 特徴や価格予想・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨Duel Network \(DUEL\)とは？ 特徴や価格予想・買い方を徹底解説](#)

[【仮想通貨】エレストワールドとは？稼ぎ方や始め方を徹底解説](#)

[仮想通貨Mantle\(MNT\)とは？特徴や価格動向・買い方を徹底解説](#)

[リップル\(XRP\)は100万円になる？将来性ない？リップル裁判や2030年の価格予想を解説](#)

[仮想通貨JASMY（ジャスミー/JMY）とは？将来性や今後価格・取引所を解説](#)

[FTXトークン（FTT）とは？特徴や将来性を解説【仮想通貨】](#)

[エイダコイン\(ADA/カルダノ\)の将来性は？今後の価格予想や買い方を解説](#)

[仮想通貨ASTAR\(アスター/ASTR\)とは？特徴や今後予想・将来性を解説](#)

[元素騎士オンラインとは？始め方や今後の見通しを徹底解説](#)

[仮想通貨FLOW（フロー）とは？今後の将来性や価格予想・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨SANDとSandboxの将来性は？今後予想や買い方・始め方を解説](#)

[ドージコイン\(DOGE\)の今後はどうなる？将来性や価格予想を徹底解説](#)

[仮想通貨MINA/Mina Protocolとは？今後の将来性や買い方・価格動向を徹底解説](#)

[仮想通貨CAKE/PancakeSwapとは？今後の将来性や買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨dYdXとは？今後の将来性や、価格動向・買い方を徹底解説！](#)

[仮想通貨IMX\(Immutable\)の将来性は？今後予想や買い方など徹底解説](#)

[仮想通貨Core DAO \(CORE\)とは？エアドロップや将来性・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨バイナンスコイン\(BNB\)とは？今後の将来性や買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨Polygon\(ポリゴン/MATIC\)の今後の将来性は？取引所や買い方も解説！](#)

[柴犬コイン（シバイヌ/SHIB）とは？特徴や買い方・将来性を解説](#)

[仮想通貨SOL\(ソラナ/Solana\)の今後はどうなる？将来性や買い方、取引所を解説](#)

[仮想通貨リスク\(LSK\)は終わった？今後の将来性や高騰する理由・将来価格を予想](#)

[【2023年6月】仮想通貨おすすめ銘柄ランキング5選！将来性の高い銘柄の選び方や価格推移を解説](#)

[リップル\(XRP\)の今後は？価格予想や将来性・リップル裁判を解説](#)

[仮想通貨ワールドコイン（Worldcoin）とは？買い方や将来性を徹底解説](#)

[仮想通貨ファントム（FTM）とは？今後の将来性や特徴など徹底解説](#)

[仮想通貨SUIとは？今後の将来性や買い方・使い方を徹底解説](#)

[仮想通貨PEPE\(ペペコイン\)とは？購入方法や取引所・価格動向を徹底解説](#)

[Pi Network（パイネットワーク）とは？仕組みや特徴、マイニングを解説](#)

[仮想通貨CAW \(A Hunters Dream\)の買い方を徹底解説](#)

[ステラルーメン\(XLM\)は10000円になる？ 将来性ない？ 今後の価格予想を徹底解説](#)

[仮想通貨STORJとは？ 特徴や使い方・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨モネロ\(Monero/XMR\)とは？ 買い方やマイニング、将来性を徹底解説](#)

[仮想通貨Zcash\(ジーキャッシュ/ZEC\)とは？仕組みや取引所・マイニングを徹底解説](#)

[仮想通貨Ravencoin\(RVN\)とは？ 将来性やマイニング・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨Zilliqa\(ジリカ/ZIL\)とは？ 将来性や買い方・取引所を徹底解説](#)

[Pi Network \(パイネットワーク\)の今後の見通し・価格予想を徹底解説](#)

[仮想通貨AGIX\(SingularityNET\)とは？ 将来性やステーキング・買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨ANKR\(アンカー\)の将来性は？ 特徴や買い方も徹底解説！](#)

[仮想通貨ARPA\(アーパ\)とは？ 将来性や買い方・取引所を徹底解説](#)

[仮想通貨Balancer\(バランサー/BAL\)とは？ 価格動向や買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨Band Protocol\(BAND\)とは？ 特徴や買い方・取引所を徹底解説](#)

[仮想通貨Bella Protocol\(ベラ/BEL\)とは？ 特徴や将来性、買い方を徹底解説](#)

[仮想通貨Celsius\(セルシウス/CEL\)とは？ 将来性や買い方・取引所を徹底解説](#)

[仮想通貨Cartesi \(CTSI\)とは？ 将来性や買い方・価格動向を徹底解説](#)

[仮想通貨Vechain \(VET\)とは？ 今後の将来性や買い方を徹底解説](#)

[WOO Network\(WOO\)は100円になる？ 今後の価格予想や注意点を徹底解説](#)

[仮想通貨Sei \(SEI\)とは？ 買い方や将来性・価格動向を徹底解説](#)

[仮想通貨CYBER\(サイバーコネクト\)とは？ 特徴や将来性・買い方を徹底解説](#)

[スピンドル \(SPINDLE/SPD\)とは？ 特徴や今後の見通しを解説](#)

[テスラ株価の今後予想や将来性を徹底解説！ 買い方や10年後の株価予想も](#)

[アップル株価の今後は？ 10年後予想や株価推移・配当を徹底解説](#)

[エヌビディア株価は今後どうなる？ 10年後の株価予想や見通し・買い方を解説](#)

[ドル円の今後はどうなる？ 円安はいつまで？ 最新予想や見通し](#)